

Murayama.Honda Dream.RT

2022年MFJ全日本ロードレース選手権

●第2戦 4/23(土)-24(日) 鈴鹿2&4レース

開催場所:鈴鹿サーキット(三重県)



2輪と4輪のレースが同日に開催される2&4レース。観客も多く、華やかな雰囲気で開催されるレースは、ライダーなら俄然やる気が出てくるもの。また、今回のレースはまだ鈴鹿8耐への参戦キップを手にしていないチームのトライアウトも兼ねているので参加台数も多く、全59台が参加。予選では15台が基準タイムをクリアできず、フルグリットの44台が決勝に進む激戦となった。

第1戦の予選中にマシントラブルで転倒し、負傷した秋吉選手はこのレースに欠場し療養中だが監督としてピットで指揮をとった。今回のレースに出場するのはもう一人の8耐ライダー、出口選手。全日本選手権JSBクラスで10年以上戦い、毎年のように有力チームから鈴鹿8耐に参戦していたこともあり、出口選手にとって

鈴鹿はホームグラウンドとっていいサーキットだ。

ただ、鈴鹿8耐参戦シード権をすでに獲得しているチームにとって、このレースはセッティングを詰める目的もあった。

予選は土曜日に行われ、出口選手はレース1で23番、レース2で21番グリットを獲得。

決勝は、レース1は14周、レース2は16周で争われる。

レース1決勝では、出口選手はスタートよく、1周目で3台を抜き、レース終盤まで安定した走りを見せ、17位でフィニッシュした。

翌日のレース2では降雨があり、路面は全日から一転してウェット。レースは16周予定がウェットのため2周減算の14周となった。21番グリットからスタートした出口選手は終盤までペースをキープし、予選から4台抜きの17位でレースを終えた。

欲を言えば、15位までのポイント圏内まで2レースともあと少しだったのが惜まれるが、出口選手は慣れないマシンのウェット路面でのレースで堅実な走りを見せたのはさすが、ベテランといえるレース運びだった。これからマシンに慣れていくうちにポジションも上がっていくはずだ。

鈴鹿でのレースは8耐の練習の場でもある、ホンダドリームジャパンからのメカニックサポートは、より実戦に合わせ、走行に合わせたスタンド上げおろし、タイヤウオーマーの管理など作業内容を増やして作業サポート。今回は名古屋南、姫路からの2名が協力、チームのレース運営をサポートした。



■第2戦レース結果

出口修選手

レース1 予選23位 決勝17位

レース2 予選21位 決勝17位